

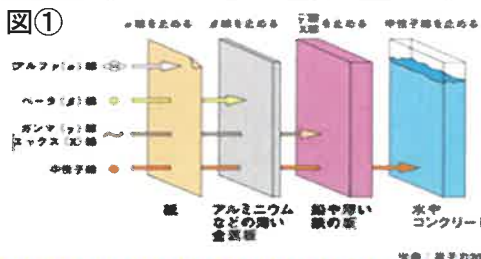
採石業と環境（労働環境を含めた）は密接な関係にある。一定規模以上の開発では計画段階で環境影響調査が求められる。また、操業時には騒音、振動、大気（粉塵、Sox、Nox等）水質、景観等への配慮も必要となる。

先日、測定機器をお借りして騒音と粉塵濃度を測定した。結果は別表の通りである。しかし、今最も関心があるのは放射線量である。福島で骨材が原因と思われるコンクリートから高い放射線が検出されたニュースは衝撃的であった。その量は1μSv/h。文科省が目安とする0.114μSv/hの10倍弱である。客観的に多いのか少ないのか、またその影響はどうか。ブラジルのある地域の自然放射線量は1.141μSv/hあるそうだ。従来コンクリートは放射線を遮断する材料として使われている。健全な骨材による健全なコンクリートは放射線に対して大きな遮断効果を持つ。（図①参照）やっぱり頼りになるのはコンクリートだべ～。安心していただける製品や情報を提供していきたいと改めて思う次第である。

- ※1 後半は聞きかじりの知ったかぶりになってしまいました。
- ※2 砕石事業場の放射線測定を予定しています。次号には結果をお知らせできると思います。

【別表】

| 測定項目  | 測定箇所          | 測定値        | 社内基準値     |
|-------|---------------|------------|-----------|
| 粉じん濃度 | 発生源(1次クラッシャー) | 0.02 mg/㎡  |           |
|       | 事業場境界付近       | 0.001 mg/㎡ | <0.2 mg/㎡ |
| 騒音    | 発生源(2次ふるい)    | 91.5 dB    |           |
|       | 事業場境界付近       | 65.4 dB    | <75 dB    |



いわて年末年始無災害運動終了

昨年十二月からの無災害運動が終わりました。砕石事業所では、目に泥が跳ねてゴロゴロするという報告が一件だけありました。しかし、一人一人から胸に手を当てて正直に答えなさいと問うたら、『ひやり』『やばい』とか『あたたた』といった声が聞こえてきそうです。徒歩通動のMさんは知る限り、既に三回は転んでいません。満身創痍で春を迎えることにならないよう二月も安全第一で頑張りましょう。

フクタクニュース

発行



(株)フクタク

砕石部

夢をあきらめないで 桑田選手

毎年恒例の産業廃棄物協会の新春講演会に参加。今年には元プロ野球選手の桑田真澄氏。23年間プロ野球を続けてこれた理由に『表と裏の両立』というキーワードにお話してくれました。表は結果、裏はプロセスと桑田さんは言う。中学からPL学園に特待生として夢を持って入学したが、背格好も腕力も違いすぎる清原さんとの出会いで劣等感から挫折した。清原さんのバッティングマシーンから出るボールを打つ音が初めて耳にした豪快な音だった。同じピッチャーとして入学した清原さんに勝てるわけがないと彼はすっかりやる気をなくしてしまう。悩んだあげく転校したいと母親に相談。母から帰ってきた言葉が『絶対あきらめないで！いつ何が起るのかわからないのだから』という言葉に、彼はもう一度努力してみようと決意。その彼が思いついたことがなんと寮のトイレ掃除だった。なぜトイレ掃除か、その何でもないことを毎日続けることに意味があったのだ。磨き続けて3ヶ月たったある日、いきなりチャンスが現れた。監督に『桑田投げてみる！』と言われるが、当然、練習方法が変わったわけではないから打たれるばかり。ところが、試合が終わりスコアボードを見るとなんと一点も奪われていない！彼が投げるボールはヒットにならない、そればかりか、自分の打席になるとど真ん中ばかりの絶好球が来たというのである。これを運と縁とツキと彼は言った。

こうして無我夢中のまま甲子園で優勝を手にした。彼曰く、清原さんは実力家、自分は何ひとつ飛びぬけたものは無いので総合力を生かした努力家だという。努力が実を結んだことで努力が楽しくなり、さらなる努力がしたくなる。夢を持つことは結果を出すのではなく、それに向かう気持ちや努力していくことが大切なのであると講演は終了。今、私がこの年齢で何を努力して夢を持てばいいのかわからない。と、先に頭をよぎる。これでは始めから何も起きない。今年は勉強したいことがあるので結果を出せなくても向ってみようと思わせた桑田さんに感謝。ちなみに桑田さんは、野球の取る・打つ・投げるの中で一番投げるのが苦手だったそうです。

備えあれば

1月は砕砂プラントを中心に修繕を行いました。摩耗や腐食によって老朽化した箇所を修理し部品の交換、各機械の整備を実施しました。砕砂プラントは3月初旬の運転再開を目指しています。また、原石の安定供給に向けてサツパ沢工区頂部の立木伐採作業も開始しました。皆様のご用命をお持ちしております。

さぶ～

今年の冬は近年になく寒い。1月28日は最低気温が-17℃であった。冷凍庫の温度である。日中も気温が上がらず、機械の始動や設備の稼働に思わぬ時間がかかっている。



朝の冷気の中天台山寺方面を望む

朝布団から脱出するにも気合が必要である。年がら年中冷水で顔を洗うという人もいる。ももひきをはかないという人もいる。それもこれも冬に勝つささやかなこだわりである。インフルエンザ流行の折、賢明な読者の皆さんにはくれぐれもご自愛ください。

編集後記

先日老眼鏡を購入しました。眼鏡のお世話になることと全く縁がなかったのに。日常生活では苦はないのですが、仕事上細かい数字が6なのか8なのかわかりづらい・イライラしてくる。老眼鏡をかけたらスッキリ見える！気分もスッキリなんです(笑) 近くのものを見る時、毛様体筋が頑張つて水晶体が膨らませるのに、加齢に伴い固くなる水晶体の厚みを変えることが出来なくなって近く物が見えにくくなるのが老眼(老視)なんだそうです。歳にはかなわない(寂)